

韓国語で演じながら表現を楽しむ新しいかたちの
スピーチコンテストに参加してみませんか？

募集要項

応募締切 11/8(金)

必着！

「話してみよう韓国語」第9回 鳥取大会募集要項

＜中高生スキット部門＞ ＜指定スキット部門＞ ＜創作スキット部門＞

3部門の出場者を大募集

最優秀賞受賞者には日韓往復航空券など豪華な賞品が贈られます。韓国語を学んでいる初級・中級学習者のみなさん、この機会に日ごろの学習成果を試してみませんか？あなたのご応募をお待ちしています！

※応募締め切り：2013年11月8日(金) 必着（応募多数の場合、第1次審査で本選出場者を選抜します。）



話してみよう

韓国語

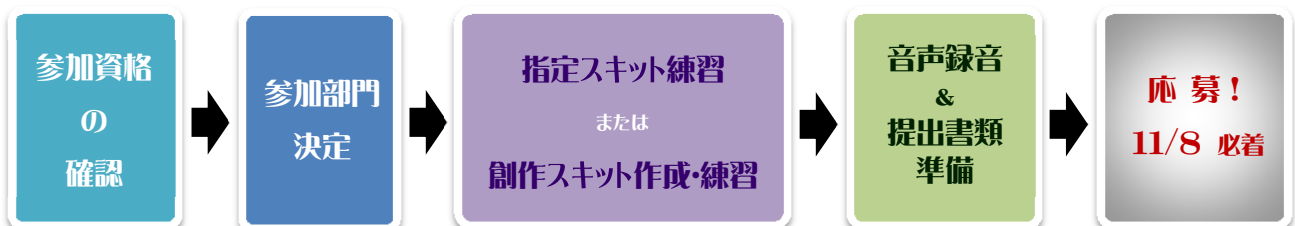
함께 말해봐요

第9回 鳥取大会

本選開催日：2013年12月15日(日)13:00～

会場：米子コンパシオンセンター2階 国際会議室

♪応募までの流れ ご応募は計画的に！



主催：鳥取県、駐大阪大韓民国総領事館 韓国文化院

運営：公益財団法人 鳥取県国際交流財団

共催：駐大阪韓国文化院 世宗学堂

特別協賛： **ASIANA AIRLINES**
A STAR ALLIANCE MEMBER

◇ 開催趣旨： 楽しみながら韓国語の表現力を見せる場

韓国語を学び始めて間もない初級学習者でも楽しんで参加できるスピーチ大会があれば、そして学習者と指導者、友だちや家族のみなさんが韓国語を学ぶ楽しさを感じられたら…… そんな思いから、2003年に「話してみよう韓国語」は東京と大阪で誕生しました。2005年の「日韓友情年」を契機に開催都市も増え、本年度は全国9都市でそれぞれ地域の特色を生かした大会が開催されるまでになりました。

「話してみよう韓国語」には中高生、大学生、会社員、主婦など、様々な年齢、職業の方々が参加しており、韓国語学習者の層の厚さを物語っています。初級学習者はもちろん、中級以上の学習者も参加できる部門を設定していますので、学習者の皆さんが学習歴に応じて繰り返しチャレンジすることもできます。

本大会が全国の韓国語学習者の励みとなり、韓国語学習者のすそ野が広がることを期待してやみません。



この大会には、『中高生スキット部門』、『指定スキット部門』、『創作スキット部門』の3つの部門があります。

《鳥取大会の紹介》

鳥取県と韓国は、米子ソウル便や環日本海定期貨客船を利用した行政、文化、スポーツなど様々な分野での交流が活発に行われています。また、近年は韓国ドラマの撮影やテレビ番組のロケなども行われ、県民の韓国への関心もさらに高くなっており、毎年多くの来場者で賑わい、熱気あふれる大会となっています。

厳しい審査の後には、民団婦人部の皆さんのご協力による手づくりの韓国家庭料理を囲んでの交流会などお楽しみも盛りだくさんです。韓国語を学習されている皆さんからの多くの参加申し込みをお待ちしております。

◇ 各部門別参加資格・説明・提出物について

中高生スキット部門 <2人1組で挑戦します>

制限時間3分。指定の台本を暗記し、2人1組で韓国語の発音や表現力を競います。1人での参加はできません。**本文自体を変えることはできません**が、文末を変えたり、文章を一部追加することができます(本文全体の3分の1程度まで)。また、台本を読み上げることはできません。服装・メイクは自由ですが、小道具は身の回り品程度とします。(事前に、使用される小道具の内容をお知らせください。)BGMを流すこともできます。

○ 参加資格

- (1) 日本国内の学校に在籍する、韓国語を母語としない**中高生**で、本選(2次審査)時に、満20歳未満の者。国籍は問いません。
- (2) 韓国語学習歴が2年以内で、本選(2次審査)までの学校等での学習時間が100時間までを目安とする初級学習者、韓国語能力試験1級未満、ハングル検定5級程度の者。
- (3) 韓国あるいは韓国語を常用する地域における生活経験が合算して1カ月以内の者。
- (4) 独習者は、学習歴・学習時間が(2)に準ずる者。
- (5) 応募時点から過去1年以内に、本大会及び他の韓国語スピーチコンテストの本選で最上位(最優秀賞、大賞、優勝など)を受賞したことがない者。

○ 応募に必要な提出物

- 所定の参加申込書 (応募者2名分の参加申込書を同一の封筒等に入れて提出してください。)
- スキット台本の完成版原稿(韓国語・日本語各1部をA4用紙に印刷したもの)
 - ※アドリブを追加した場合、韓国語・日本語ともに追加・変更した部分が見えるようにして送ってください。
 - ※1次審査通過者には、後日、完成版原稿の電子データの提出をお願いします。
- スキット台本のセリフを録音したもの(テープ、CD-Rのいずれか)
- 使用する予定の小道具のメモ

◆優勝者はクムホ・アジアナ杯「話してみよう韓国語」高校生大会に出場できます！

中高生スキット部門に出場した高校生のうち各大会で最上位組は、3月に東京で行われる“韓国語の甲子園”クムホ・アジアナ杯高校生大会に出場する権利を得ることができます(ただし、中高生スキット部門応募総数が5組以上の大会の場合)。地方から出場する高校生及び引率教員1名には、東京までの往復交通費と東京での1泊分の宿泊が提供されます。同大会の入賞者は副賞として約1週間の韓国研修旅行に招待されます。また、最優秀賞受賞者は、研修に続いて韓国の大学で3週間の語学研修に参加することができます。

■クムホ・アジアナ杯「話してみよう韓国語」高校生大会の日程

【日 時】 2014年3月8日(土)14:00～(予定)

【会 場】 韓国文化院ハンマダンホール (東京都新宿区四谷4-4-10)

指定スキット部門 <2人1組で挑戦します> ※初級学習者は指定スキット部門で腕試し!

制限時間 3 分。指定台本を暗記し、2 人 1 組で韓国語の発音や表現力を競います。1 人での参加はできません。本文自体を変えることはできませんが、文末を変えたり、文章を一部追加することができます(本文全体の3分の1程度まで)。制限時間の範囲で自由創作部分のアレンジは可能です。なお、台本を読み上げることはできません。服装・メイクは自由ですが、小道具は身の回り品程度とします。(事前に、使用される小道具の内容をお知らせください。)BGMを流すこともできます。

○ 参加資格

- (1) 韓国語を母語としない中学生以上の者。国籍は問いません。(韓国語能力試験初級(1~2 級)、「ハングル」能力検定試験 4~5 級程度の学習者を想定しています。)
- (2) 中高生スキット部門の参加資格に規定する学習歴を超える中高生。
- (3) 大学生・一般: 応募時に韓国語学習歴が2年以内で本選(2次審査)までの学校等での学習時間が100時間までを目安とする**初級学習者**。大学生の場合、日本国内の学校に在籍する者。
- (4) 韓国あるいは韓国語を常用する地域における生活経験が合算して1カ月以内の者。
- (5) 独習者等は、学習歴・学習時間が(3)に準ずる者。
- (6) 応募時点から過去1年以内に、本大会を含む他の韓国語コンテスト等の本選で最上位(最優秀賞、優勝、大賞など)を受賞したことがない者。ただし、過去の中高生スキット部門最優秀賞受賞者は応募可能。

○ 応募に必要な提出物

- 所定の参加申込書 (応募者2名分の参加申込書を同一の封筒等に入れて提出してください。)
- スキット台本の完成版原稿(韓国語・日本語各1部をA4用紙に印刷したもの)
 - ※アドリブを追加した場合、韓国語・日本語ともに追加・変更した部分がわかるように送ってください。
 - ※1次審査通過者には、後日、完成版原稿の電子データの提出をお願いします。
- スキット台本のセリフを録音したもの(テープ、CD-Rのいずれか)
- 使用する予定の小道具のメモ

創作スキット部門

＜2人1組で挑戦します＞※中級以上の学習者は創作スキット部門に挑戦！

制限時間 2分30秒～3分の間で発表が終わるようにしてください。指定した設定場面で2人以上の登場人物がいるスキットを創作して暗記し、2人1組で韓国語の発音や表現力を競います。創作スキットの台本は、必ず会話をする内容とし、ナレーションなど会話になっていないものは不可とします。また台本を読み上げることはできません。2人1組を原則としますが、やむを得ず相手を探し切れなかった場合は、1人2役以上を条件に応募を認めます。

服装・メイクは自由ですが、小道具は身の回り品程度とします。(事前に、使用される小道具の内容をお知らせください。)BGMを流すこともできます。

★設定場面: 「百貨店」(売り場、レジ、案内所、フードコート、配送サービスセンターなど)での会話

登場人物: 2名以上であれば自由に設定してください。

(1人2役以上や、登場人物が3名でも4名でも可能です。ただし、2人で演じます。)

* 台本の作り方は「指定スキット部門」の台本を参考に作成してください。

○ 参加資格

次の条件をすべて満たす方は、どなたでも応募できます。

- (1) 韓国語を母語としない中学生以上の者。国籍は問いません。
- (2) 韓国あるいは韓国語を常用する地域における生活経験が合算して1年以内の者。
- (3) 応募時点から過去1年以内に、本大会を含む他の韓国語コンテスト等の本選で最上位(最優秀賞、優勝、大賞など)を受賞したことがない者。ただし、過去の中高生スキット部門または指定スキット部門の最優秀賞受賞者は応募可能。

○ 応募に必要な提出物

所定の参加申込書 (2人1組で応募の場合は2名分の参加申込書を同一の封筒等に入れて提出してください。)

創作スキット台本原稿(韓国語・日本語各1部をA4用紙に印刷したもの)

※創作スキットの台本制作時は、指定スキット部門の台本の通り①題名、②登場人物、③場面設定などをわかりやすく入れてください。

創作スキット台本原稿の韓国語・日本語の電子データが入ったCD-R

創作スキットを録音したもの(テープ、CD-Rのいずれか)

使用する予定の小道具のメモ

◇ 応募方法

各部門で必要な提出書類と録音テープまたは CD を同封し、応募先まで郵送するかご持参ください。一度提出された書類等は一切返却できませんので、ご了承ください。※応募後、原稿に変更がないよう、十分に確認をしてからご提出ください。提出後に不備等がありましたら、至急お問い合わせください。なお、**1次審査開始後の原稿の変更等は認めません。**

複数部門への応募はできません。また、応募後に参加者を交替することはできませんので、ご注意ください。

※ 公平な審査のために次の点を必ずお守りください

- ① 録音媒体には発表内容以外の事項(自己紹介など)は入れないでください。減点の対象になります。
- ② 録音媒体にお名前をお書きください。
- ③ 1つのテープ・CD-R に複数組の録音を入れしないでください(1組1つずつを厳守願います)。
- ④ 録音される際は、録音時のボリュームを大きめにし、送付する前に必ず再生して音質等を確認してください。(録音されていなかったり、ボリュームが小さくて聞きづらい場合、1次審査の際、不利になることがあります。)

◇ 1次審査(予選)と本選の実施について

【1次審査(予選)】テープ審査 ※書類と録音を併せて総合的に判断します。

<中高生指定スキット部門> ……10組前後を選抜

<指定スキット部門> …………… 7組前後を選抜

<創作スキット部門> …………… 5組前後を選抜

※各部門の募集状況により出場者数の変更があります。

※審査の結果は、11月下旬頃に代表者またはご本人あてに通知します。

◇ 本選の審査について

本選の発表順は、予め厳正な抽選により決定しお知らせします。

○ 審査基準は次のとおりです。 ※()内の数字は100点中の配点です

部 門	審査基準
中高生スキット部門 指定スキット部門	・発音(50点)—正確さ、イントネーション、聞き取りやすさ ・総合表現力(40点)—話す速度、強弱、身振りや手振り、感情表現など、アドリブ含む ・暗唱(10点)—原稿を見ないで発表
創作スキット部門	・発音/表現(40点)—正確さ、イントネーション、聞き取り、話す速度、強弱、感情表現など ・内容/構成(40点)—内容、語彙的な問題、誤用、起承転結など ・暗唱(10点)—原稿を見ないで発表 ・質疑応答(10点)

※質疑応答について：

創作スキット部門は発表後に審査員が韓国語で質問します。それに対して韓国語で答えてください。

※発音・イントネーション等の基準について：

本大会では、ソウルを標準語とする韓国語を基準にして審査を行います。

【各部門共通】ステージ上での注意事項

本選の発表時に主催者側がステージ上に準備できるものは、ホワイトボード、椅子 2 脚・長机 1 台のみです。

※ 施設管理及び衛生面から舞台上に飲食物を持ち込むことは禁じます。

※ 1 次審査で各部門の参加資格を超える語学力を持っていると判断された方は、本選に進めないことがあります。

◇ 各賞

(予定) ※変更されることがあります。

○最優秀賞：各部門 1 グループ(名)ずつ

- 中高生スキット部門：賞状、クムホ・アジアナ杯「話してみよう韓国語」高校生大会への出場権(※)
- 指定スキット部門：賞状、旅行券または日韓往復航空券
- 創作スキット部門：賞状、旅行券または日韓往復航空券

○優秀賞：各部門 1 グループ(名)ずつ - 各部門共通：賞状、副賞

○奨励賞：各部門 1 グループ(名)ずつ - 各部門共通：賞状、副賞

○特別賞：中高生スキット部門より 1 グループ - 賞状、副賞

○努力賞：上記入賞者以外の本選全参加者 - 記念品など

(※)中高生スキット部門の総応募数が5組以上となった大会にのみ授与されます。

出場生徒2名及び引率教員1名分の東京までの往復交通費+都内ホテル1泊(朝食付、相部屋)が合わせて提供されます。中学生が最優秀賞を受賞した場合、高校生の最上位組が出場権を獲得します。また、高校生の最優秀者が辞退した場合は、次点受賞者が出場できるようになります。総応募数が5組未満だった場合は、各大会実行委員会からクムホ・アジアナ杯「話してみよう韓国語」高校生大会事務局へ応募書類と応募音源を送っていただくことにより、事務局側で行う音源審査の対象とさせていただきます。音源審査全体から数組が全国大会への進出となります。

◇ 本選参加者の交通費補助について

最寄りの地方の大会に参加することを基本とします。本選出場者の交通費が1人往復 5,000 円を超える場合、1人 10,000 円を限度に 5,000 円を超える分を限度に助成します。参加者本人のみを対象とします。所属学校や他の機関から補助を受けられる方は対象となりません。なお、中学生・高校生に関しては、会場までの旅費を 10,000 円を上限として参加者全員に補助します。(ただし、公共交通機関に限ります。)

【 本選(2次審査／本大会) 】

開催日時： 2013年12月15日(日) 13:00 ～(午前中に事前説明会とリハーサルを行います。)

会 場： 米子コンベンションセンター 2F 「国際会議室」(米子市末広町294)



・JR 米子駅から徒歩 5 分

・米子自動車道米子 I.C から山陰自動車道(松江方面行き)、米子中 I.C から車で約 5 分

※松江方面からお越しの場合は、米子西 I.C で下りてください

◇応募・お問い合わせ

公益財団法人 鳥取県国際交流財団 (米子事務所)

〒683-0043 米子市末広町 294 番地 米子コンベンションセンター1 階

電話 0859-34-5931 ファクシミリ 0859-34-5955

[利用時間] 平日 9:00～17:30 土日 10:00～17:00 (祝日・年末年始を除く)

※『話してみよう韓国語第9回鳥取大会』の情報は、下記ホームページでもご覧いただけます。

募集要項および参加申込書のダウンロードもできます。

ホームページ <http://www.torisakyu.or.jp/?id=885>

電子メール tic@torisakyu.or.jp

